

平成 29 年 10 月 27 日
商 工 中 金

中小企業月次景況観測の当面の公表中止について

当金庫が毎月公表を行っている「中小企業月次景況観測（以下、本調査）」において、対象企業に対する調査を実施していない数値が含まれていることが判明したため、当面、調査の公表を中止することといたしました。

1. 経緯

本調査は、中小企業の景気動向の調査を目的として、毎月、当金庫のお取引先 1,000 社を調査対象として調査票によるアンケート調査を行っているものです。毎月の調査は、当金庫の職員が調査対象企業に対する聞き取りを行う方法、または調査対象企業による調査票の記入・提出による方法で実施しております。

危機対応業務等に係る不正行為事案について調査した結果をまとめた調査報告書（10 月 25 日発表）においてご報告しているとおり、中小企業月次景況観測の 10 月分の調査結果の集計中に、当金庫の担当者が調査対象企業に対して聞き取りを行わず、担当者自身が調査の数値を記入し調査票を自作したことが判明し、他にも同様の事案がないか確認調査を行ったところ、調査票を自作した事案が複数あったことを確認しました。

本調査の信頼性を損なう重大な事案であると認識しており、10 月 31 日に公表を予定しておりました 10 月調査を含め、当面、調査の公表を中止することを決定いたしました。

（参考）現時点で判明している内容（調査報告書（10 月 25 日発表）にて報告）

- ・本年 10 月時点の調査先 1,000 社全てについて、同様の事案がないか広がりの確認の調査を実施し、これまでに電話等での聞き取りを行わず調査票を自作したことのある調査先が少なくとも 142 先あることが判明（確認調査継続中）

2. 本件の対応

調査対象企業のご担当者が不在等で調査が出来なかった調査票もあり、引き続き調査を継続してまいります。

また、今回の事案について、不適切な調査を行った関係者に対して厳正な処分を行うとともに、今後の対応については検討を進め、改めてお知らせいたします。

この度の問題に関しまして、お取引先の皆様、利用者の皆様、国民の皆様に、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。

当金庫はこの度の不適切事案の発生を真摯に受け止め、信頼を回復すべく、全社一丸となって再発防止等に取り組んでまいります所存です。